



芦屋市谷崎潤一郎記念館

つながる文学講座

第6回 告白と文学



～田山花袋「蒲団」を読み解く～

自然主義文学の代表作といわれる「蒲団」ですが、なにゆえ、代表作と呼ばれるようになったのでしょうか。また、中年男性の内面が「赤裸々」に「告白」されている、と評されますが、何が「告白」されているのでしょうか。明治時代の中年男性のお悩みを読み解きたいと思います。

2024年
 2月18日(日)
 午後2時～3時30分



光石 亜由美 氏

奈良大学文学部国文学科教授
 専門は日本近代文学。著書に『自然主義文学とセクシュアリティ—田山花袋と〈性欲〉に感傷する時代』(世織書房、2017年)、『〈変態〉二十面相—もう一つの日本近代精神史』(共著、六花出版、2016年)などがある。

場 所：当館 講義室
 講 師：光石 亜由美 氏 (奈良大学教授)
 定 員：30名 (事前に応じにお申込みください)
 受講料：1,000円 (観覧料込)

芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号
 Tel: 0797 (23) 5852 Fax: 0797 (38) 3244
 e-mail: ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp
 ホームページ: <https://www.tanizakikan.com>

※参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する小学館集英社プロダクション
 共同の個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います。
 ※新型コロナウイルスの感染予防のため、マスクの着用のご協力をお願いいたします。

